



レポート番号：#815



# レベル4自動運転将来予測

## 目次

- はじめに: 本書の目的
- 概観: 自動運転の概観
- 要旨: 調査結果のまとめ
- 分析結果: レベル4自動運転車の登録台数予測
- セグメント: ロボタクシー
- セグメント: 自動運転公共交通機関
- セグメント: 自動運転ラストマイル配達
- セグメント: 自動運転トラック
- 市場予測データ: 予測方法、レベル4自動運転将来予測
- 次のステップ
- Excelデータベース: 米国、欧州および中国におけるロボタクシー、自動運転公共交通機関、自動運転トラックおよび自動ラストマイル配達の予測データを提供

## 関連レポート

### ADASおよび自動運転車市場予測 レポート番号: 538

本書は欧州、米国および中国編別により各市場における各種ADASシステムおよびそのベース技術の搭載率の差異を地域レベルで検証し、OEM単位でのADASシステム別および技術別搭載率を分析したPDF/PPTファイルと、各市場におけるADASの搭載率、販売量、ADAS機能、およびADASから得られる収益などのデータをまとめたExcelファイルで構成されています。

レベル4自動運転が導入されれば、自動車業界は大きな影響を受けることになります。この影響はすでに複数のセクターで現れています。さまざまな地域で自動運転サービスが試験的に開始されており、OEMは最新の車両により多くのL4自動運転機能やシステムを搭載しています。また、L4自動運転により、モビリティやトラック輸送など、さらなる自動車セクターに新たな機会が提供され、新たなプレーヤーへの道が開かれることになるでしょう。

ただしL4自動運転の進化と最終的なリリースは多くの要因に大きく依存しています。例えば、OEM、サプライヤー、あるいはL4自動運転の恩恵を受けようとする企業は、そのシステムが公道で安全に使用できることを保証するために、一連の法規制面での課題に直面することになります。同時にこれらのプレーヤーは、エコシステムの競争が激化する中で収益を確保・維持するために、これらシステムの商業的なベストプラクティスも考慮しなければなりません。

本書は、様々な地域やセグメントで予想される完全自動運転車およびサービスの成長に関する包括的な洞察を提供するものです。2031年までのL4自動運転の展望について予測するとともに、どのセグメントが最も多くの機会を生み出すかを評価します。

### 対象市場

- 欧州
- 米国
- 中国
- 日本
- グローバル
- その他

### レポート発行頻度

- 毎年更新
- 半年更新
- 四半期更新
- 毎月更新
- ワンタイム

### レポート形態

- PDF
- PowerPoint
- Excel
- Online

### ページ数

129

## 本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

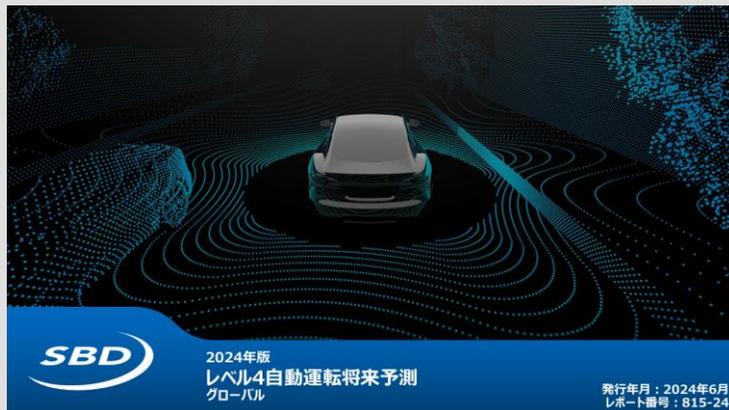
- > 今後10年間で、様々な都市や地域に導入されるL4車両台数は？
- > L4自動運転市場が生み出す収益は、輸送全体の収益においてどの程度の割合を占めることになるのか？
- > どのセグメント（ロボタクシー、シャトル、ラストマイル配達、トラックなど）が、L4自動運転の導入をリードするのか？
- > どのL4自動運転セグメントが最も大きなビジネスチャンスを生むことになるのか？

## SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへの新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



## 本書に関するお問合せ・お見積り依頼

### 「レベル4自動運転将来予測」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

